

Sound

vol. 68

2026 WINTER

住友病院だより【さうんど】

特集

内分泌代謝内科

体を正常に保つ内分泌・代謝 —メタボをはじめ幅広い領域を診る—

- 先生教えて！
大きな病院の歯科ではどのような
診療をしているのでしょうか？
- 連携医療機関
阿波座とい内科クリニック
大阪なんばJUN耳鼻咽喉科
- INFORMATION



内分泌代謝内科

体を正常に保つ内分泌・代謝

メタボをはじめ幅広い領域を診る

内分泌代謝内科は、体のバランスと正常な生命活動を保つための機能に関わる診療科です。ここ住友病院では、特にメタボリックシンドロームとそれに連なる糖尿病に力を入れ、多くの患者さまを診療しています。

ホルモンとエネルギーの流れを診る診療科

内分泌代謝内科の「内分泌」とは、ホルモンの分泌のことを指します。インスリンを分泌する膵臓、新陳代謝を促進するホルモンを分泌する甲状腺、他にも脳下垂体、副腎なども内分泌臓器と呼ばれ、これらから分泌されるホルモンの働きにより体のバランスが保たれています。

「代謝」とは、体内で栄養がエネルギーや生体物質に変換される化学反応と、その流れのことを指します。代謝は加齢やホルモンの異常などで低下し、糖の流れに関することであれば糖尿病、尿酸代謝であれば

痛風、コレステロール・中性脂肪といった脂質代謝なら脂質異常症などの疾患として表れます。

内分泌代謝内科は、これらホルモンと代謝全般を扱う診療科です。年齢だけでなく、人それぞれの遺伝的な特性から代謝の異常として表れたり、あるいは潜在的にリスクがありながらも表に出ず隠れていることもあります。そうしたそれぞれの代謝の特色に応じて治療にあたっていきます。

内分泌代謝内科領域の最近のトピックスとしては、「**アディショナルベネフィット**」が挙げられます。本来の治療効果だけでなく**付加的な有益性のある治療薬**のことで、主に血糖を管理する薬が慢性腎臓病、

心不全、心血管疾患のリスクを下げ、効果を併せ持つといった例があります。透析導入のリスクが半分、心不全の入院リスクが3分の2に抑えられる効果があり、当院でも積極的に処方しています。



内分泌代謝内科診療主任部長
杉山 拓也

内科系副院長
山本 浩司

こんな症状が出たら要注意！
病気が隠れているかもしれませんよ

- むくみ**
▶ 副腎、甲状腺
- トイレ(尿)が多い**
▶ 糖尿病、下垂体、副甲状腺
- 急に太る**
▶ 下垂体、副腎、甲状腺、性腺、膵臓
- 急に痩せる**
▶ 下垂体、副腎、甲状腺、糖尿病、がん
- 胃腸の調子が悪い**
▶ 下垂体、副腎、甲状腺、副甲状腺、膵臓
- たくさんの毛が抜ける**
▶ 下垂体、甲状腺、性腺
- 毛が濃くなる**
▶ 副腎、性腺
- 動悸がする**
▶ 甲状腺
- 眼が痛い、見えにくいなど**
▶ 甲状腺(発症前でも)、下垂体

住友病院の取り組み

数十年先を見据えた全身管理

あなたの健康のペースメーカーに！

当院では内分泌代謝内科領域の疾患全般を診療していますが、メタボリックシンドロームを提言した松澤佑次先生が当院の名誉院長・最高顧問を務めていることもあり、特に脂質異常症、高血圧といったメタボリックシンドロームに含まれる疾患や、糖尿病を持つ方を多く診療しています。

昨今の糖尿病治療では、血糖管理だけでなく同時に臓器保護をめざした治療が主流になってきており、先に挙げたアディショナルベネフィットを持つ治療薬を用いるなど、全身管理にも力を入れております。

そもそも糖尿病は万病のもとといわれ、腎不全、心筋梗塞、脳卒中、失明など深刻な合併症を引き起こします。加えて高齢者であれば多疾患併存の状態である可能性も高まります。当院には多くの診療科が揃っており、しかも各診療科の垣根が低く、迅速かつ強固な連携による**チーム医療を提供している**ことが特長として挙げられます。このチーム医療が臓器保護、全身管理をめざす治療において大きな役割を担っています。

また内分泌代謝内科には多くの医師が所属し、知識や技術だけでなくそれぞれに個性を備えています。メタボリックシンドロームや糖尿病を持つ方は医師との付き合いが長くなりますが、相性のいい医師を見つけ



やすいのも当科の特長だと思います。

糖尿病という、一般的に不摂生のイメージが付きまといがちです。そのため糖尿病を持つ方が生命保険に加入できない、就職できない、住宅ローンを断られるなどの不利益を被ることが実際にあります。しかしライフスタイルが農耕からデスクワークなどに移行したことや、食生活の変化、日本人はもともとインスリンの分泌量が少ないことを鑑みると、決して不摂生だけが原因とはいえません。こうした事実を背景に、糖尿病にまつわるステレオタイプな決めつけや不名誉な烙印、ステイグマを払拭しようという取り組みがなされていきます。ぜひ皆さまもお知りおきください。

ラジオ番組 「こうじ先生のメタボ対策」

当院の山本浩司副院長がメタボの気になる疑問や不安に専門家の視点からお答えするラジオ番組です。
放送：YES-fm (78.1MHz) 毎月第4火曜日 12:30～

※YouTubeの住友病院公式チャンネルでも過去の放送を聴くことができます。



CHECK

毎週4火曜日 12:30~12:45 ON AIR!

こうじ先生のメタボ対策

住友病院チャンネル

先進糖尿病外来

便利な機器を利用し諦めることのない生活を

自己免疫によってインスリンを分泌する膵臓の細胞が破壊され、命に関わる状態に至る糖尿病を1型糖尿病といいます。1型糖尿病を持つ方は、インスリンの生理的な基礎分泌を再現するためインスリン注射が欠かせません。しかしインスリン注射は作用時間が長い持続型と作用時間が短い超速効型を使い分けたり、食事ごとに注射を打ったり、注射のために肌を露出しなければならぬといった手間がかかります。そうした手間がなく**血糖をコントロールする方法として、体に装着する「インスリンポンプ」**を使用してはいかがでしょうか。インスリンポンプはスマホサイズのコンピューターを使い、使用者ごとのインスリン分泌パターンに合わせてインスリンを少量ずつ自動注入し、生理的な状態に近づけることができます。

適切なインスリン量を注入するためには、定期的に指を穿刺して血糖測定をしなければなりません。が、その負担は少なくありません。しかし最近では**24時間血糖測定ができる「CGM」という機器**があり、指先での血糖測定の回数を減らせるようになりました。

またCGMで計測した血糖値に合わせて基礎分泌を自動調整する人

スマホサイズの機器を体に装着することで、食事と関係なく一日中持続的に必要なインスリンと、食事の時に必要なインスリンを、ともに注入してくれます。



インスリンポンプ

皮下に刺した細いセンサーにより皮下の間質液中の糖濃度(間質グルコース値)を持続的に測定することで、一日の血糖変動を知ることができる医療機器のことです。一日の血糖値の動きが持続的に視覚的にわかります。



CGM (持続血糖測定)

工知能搭載のポンプなどもあります。このように新しい機器が毎年のように開発されており、それぞれのメリット・デメリットと患者さまのライフスタイルを合わせて考慮し、負担の少ない生活を提案しています。インスリンの特性を知りこれらの機器を正しく使用すれば、問題なく血糖コントロールができ、生活で困ることとはありません。再生医療の研究も進んでいます。患者さまには、1型糖尿病でも落ち込んだり、決して何かを諦めたりする必要はないとお伝えしています。

教育入院

変化・効果を実感できる個々に合わせた指導

当院では、糖尿病、脂質異常症、肥満症、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病に対する教育入院を実施しています。コロナ禍の時期はタブレットを用いた個別指導を行っていましたが、現在は集団入院のかたちに戻り、講義の時間と対面での質疑応答の機会が増えました。

現代では病気に関する情報は簡単に入手できますが、その情報がご自身に最適なものか、あるいはどう利用

副センター長
みねお りょうへい
嶺尾 良平



すればいいかをきちんと理解できるかはなかなか判断が難しく、情報過多は逆に迷うことにもなりかねません。**教育入院は講義と対話を通じてしっかり基本から応用までお伝えし、個人ごとに合わせた指導**ができる点に意義があります。

指導では医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士、理学療法士と多職種が連携し、個々の患者さまの生活を多角的に捉えて改善するべき点を整理していきます。いきなり大きな変化を強いるのではなく、入院中に達成できる小さな改善を少しずつ積み上げ、実生活でも継続していただけるよう指導しています。入院中も指導の実践により体の状態はどんどん変わっていきます。その変化を患者さまにフィードバックし、効果を実感していただくことを大切にしています。

当院では肥満症の方の体重減少を目的とした薬も処方しています。正しい導入の方法やタイミング、そしてその後も体重を維持するための生活改善など、薬を正しく使うための教育入院を行っているのです、お困りの方はご相談ください。



教育入院

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士、理学療法士が**知識の整理や日常生活の問題点の抽出、退院後の目標設定まで直接指導**を行います。

入院期間: 10日間

※入院開始は月曜日・木曜日のどちらかで選択可能



毎日歩く

ウォーキングなどの軽い運動は、血糖の上昇を抑え、体内で分泌されるインスリンの働きをよくする効果があります。1日8000歩を目標に歩くことを心がけてください。



生活のリズムを整える

夜遅くに食事をしない、夜更かしをしないなど毎日の生活のリズムを整えることで、血糖管理を改善できます。



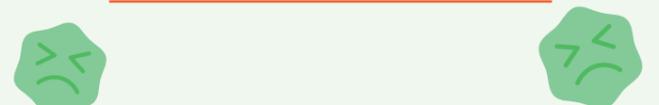
朝ごはんを食べる

朝ごはんを抜いて昼食を食べると、血糖が急激に上昇します。血糖値を上げないためにも、朝はきちんと食べましょう。



糖尿病に
ならないために

毎日の生活で気をつけて!





連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現をめざしています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

阿波座とい内科クリニック

診療科目：総合内科、糖尿病内科、代謝内分分泌内科

〒550-0012
大阪市西区立売堀6-3-8 フレスポ阿波座2F
TEL 06-6978-8573



院長 都井 律和 Norikazu Toi

●アクセス

Osaka Metro
中央線・千日前線
「阿波座」駅より徒歩3分



公式ホームページ



Osaka Metro中央線・千日前線「阿波座」駅より徒歩3分のところにある商業施設「フレスポ阿波座」。阿波座とい内科クリニックは、2階の医療モールに2024年5月に開院されました。

▶開院したきっかけについて教えてください。

大阪市立大学（現：大阪公立大学）医学部を卒業後、大学院医学研究科の代謝内分分泌病態内科学に入局し、日々糖尿病や甲状腺、骨粗鬆症などの内分泌疾患の診療や研究に従事していました。そして大学からの派遣として約10年間、大阪掖済会病院にて糖尿病・甲状腺・内分泌外来も担当していたのですが、週1回の外来ということもあり、状態が悪化しているにもかかわらず私の外来まで我慢して、不安なまま過ごされる方も多くおられたのです。そのため、困った時にいつでも受診できるように毎日外来をしたいと思い開院に至りました。

▶総合内科も標榜されています。

専門である糖尿病や代謝内分分泌内科はもちろん、総合内科では、かぜや発熱などの日常的な体調不良からアレルギー疾患や睡眠時無呼吸症候群、関節リウマチなどの専門性の高い診療まで行っています。

▶メッセージをお願いします。

身体だけでなく心の健康も大切に、患者さまが笑顔で元気でいられるよう診療しています。日常的な体調不良で「何科を受診したらよいかわからない」という方も、ご相談にいらしてください。

大阪の南の玄関口ともいえるなんば。大阪なんばJUN耳鼻咽喉科は、2025年4月に各路線からすぐの好立地に開院しました。地下街が充実しているので雨にぬれずに来院できます。

▶診療内容について教えてください。

耳・鼻・喉の病気を幅広く診療しています。耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医として大学病院や総合病院での経験を基に、一般的な薬物療法に加え、スギ花粉症やダニアレルギーに対する舌下免疫療法、アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎・鼻中隔彎曲症に対する日帰り手術を実施していることが特徴です。その他に睡眠時無呼吸症候群の治療（CPAP療法）も行っています。

▶おしゃれな院内に充実した医療設備が整っています。

高精度な内視鏡検査を実現する内視鏡システムを導入しています。また、45項目のアレルギー検査が迅速に短時間で正確にできる検査機器や初期のわずかなインフルエンザウイルスも検出できるインフルエンザ高感度迅速診断装置なども設置しています。

▶メッセージをお願いします。

私が大切にしているのはコミュニケーションです。つらい症状があっても我慢している方、市販薬でやり過ごしている方が多いと思います。気軽になんでも相談できる医師でありたいと思っていますので、気になる症状がありましたら、なんなりとご相談ください。

大阪なんばJUN耳鼻咽喉科

診療科目：耳鼻咽喉科、アレルギー科

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-6-8
Osaka Metroなんばビル2F
TEL 06-6631-1187



院長 伊賀 順平 Junpei Iga

●アクセス

Osaka Metro各線「なんば」駅
6番出口より徒歩1分
南海電鉄
「なんば」駅より徒歩2分



公式ホームページ



?! 先生教えて！ Vol.4

大きな病院の歯科ではどのような診療をしているのでしょうか？

大きな病院の歯科では、歯科クリニックでは治療が難しい方の診療を行っています。診療内容は大きく分けると糖尿病等全身疾患を有する患者さまの歯科治療（口腔外科処置を含む）と口腔外科になります。全身疾患を有する患者さまは、

歯科の治療時に主治医による全身管理が必要である場合や、治療上投与されている薬や内服薬の調整を行いながら処置をする必要があるため、病院での治療が適切とされる場合があります。

一方、口腔外科とは抜歯、外傷、粘膜疾患、嚢胞、腫瘍、顎関節疾患などの治療をいいます。この治療では、特殊な画像検査等の精査を行って前記疾患の診断や治療方針を決定しています。さらに特殊な

治療・手術が必要な場合には専門分野別の診療科がある大学病院等での治療になります。

このように大きな病院の歯科を受診するには地域の診療所や歯科クリニックからの紹介状が必要となります。

当院では、全身麻酔手術を受ける患者さまや化学療法や放射線治療を受ける患者さまに対して、術後の誤嚥性肺炎等の合併症の発症の軽減や口腔粘膜炎の発症を抑制する目的で、歯科診療および専門的口腔ケアを中心に行っています。

また、全身疾患を有する患者さまに歯科治療・口腔外科治療を他診療科と連携して行います。全身麻酔手術・がん治療を始める患者さまを対象にしたリ-



当院で配布しているリーフレット

※ 歯科もしくは、がん相談支援センターにお問い合わせください。



もり ゆい
歯科診療部長 森 悠衣

フレットもご用意しておりますので、ご関心がある方は歯科もしくは、がん相談支援センターにお問い合わせください。もし、受診をご希望される場合は、他診療科の主治医や地域のクリニックの医師・歯科医師にご相談ください。

Topics / 外来診療ゾーンのトイレをリニューアルしました！

改装工事に伴いご不便をおかけしておりました外来診療ゾーンのトイレですが、今回外来棟1・2階の東・西側計4か所のリニューアル工事が完了いたしました。新しいトイレでは、「快適性」「利便性」「環境性能」の向上を目的に、個室スペースの拡張や荷物置き等の充実、オストメイト等の設備拡充を行いました。また、落ち着いた色合いの仕切りを設けるとともに、その他の備品も清潔感を重視したもので統一し、皆さまが快適にご使用いただけるようにいたしました。今後も皆さまがより快適にご受診いただけますよう、環境の整備にも取り組んでまいります。



住友病院

制服を

リニューアル

しました!



医師



看護師



薬剤師



ナーシングアシスタント



臨床心理科



臨床検査科



栄養管理科



放射線技術科



リハビリテーション技術科



医療福祉科



臨床工学科



歯科衛生技術科



視能訓練科

病院の仕事を知ろう!

～花乃井中学校の職業体験～

11月6・7日の2日間、花乃井中学校の生徒さん3名が当院の仕事を体験しました。「初めて見る機械を体験できて楽しかった!」「普段は知れないことをたくさん教えてもらえた!」など、嬉しいお言葉をいただいています。体験に来てくださった皆さん、ありがとうございました。



2025年度 市民公開セミナーのご案内

当院では、市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催しています。参加費は無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

開催日	テーマ(仮題)	担当科(予定)
2026年3月12日(木) 14:00~15:00	いまさら聞けない? メタボの知識	内分泌代謝内科



※セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。

今号の広報誌「Sound」の取材に関しては、マスク着用のうえ実施し、撮影時のみマスクを外して行っています。

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20
TEL.06-6443-1261 (代表)

【受付時間】8:30~11:30、12:30~15:00

“Sound”には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院だより「Sound」©発行人:金倉 譲 ©編集:西野 秀、細島 研一、川原 知子、小島 夢輝

「こんなことが知りたい」など、本誌についてのご意見・ご感想を当院ホームページの「お問い合わせ」フォームにぜひお寄せください。よりよい誌面づくりの参考にさせていただきます。住友病院だより【Sound vol.68】2026年1月1日発行



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。

住友病院

住友病院

検索

